

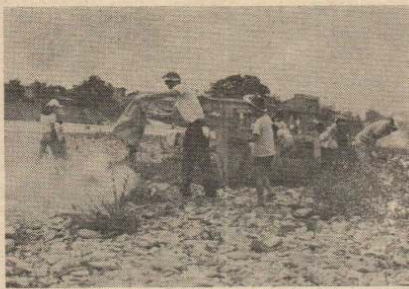
きれいになった長木川

7月15日、長木川をきれいにしよう協議会の主催で、長木川クリーンアップが行われました。

昨年は、青年会議所が中心でしたが、ことは青年会議所の呼びかけで市民団体にまで発展した協議会が中心となっただけに参加者も増え、石川市長、吉成教育長らも含め総勢500人ほどが午前8時半、東大橋下集まりました。

昨年のクリーンアップ以来長木川をきれいにしようという心が市民の間にも浸透したようで、昨年に比べるとゴミの量も少なく、ゴミ運搬用トラック10台のうち4、5台がいっぱいになる程度でした。

午前10時、クリーンアップ作戦が終了すると、全員に、牛乳、清涼飲料水、



(写真) 袋いっぱいゴミを焼却

タオル、ポスターをくぶり、協議会が用意したコイ、フナ、金魚、1,000匹を川に放して「きれいな川、魚の泳ぎ回る川」の願いを新たにしました。

出稼者の皆さんへ

健康診断(無料)

出稼者の就労中における疾病の防止をはかるため、出稼者の健康診断を行っています。

健康診断は、随時、市立総合病院で行なっていますので、受診希望者は、市民相談室から受診カードをもらって、受診してください。

出稼者相談員に3氏

市では、出稼者の良き相談相手となつてくださる「地域相談指導員」に つぎの方を委嘱しました。

出稼者のことなら、どんなことでも相談してください。

菅原隆二さん
花田 昭さん
富樫嘉明さん

山館宇羽立
十二所字川端
板沢字屋布59—2

現代の民主政治は、間接民主性を中心としているので、我々が直接政治に参与するのではなく、代表である国会議員、地方議会議員等を通じて行なわれるので、やむを得ず政治の重要問題も、代表に任せ無関心になり、理解を深めようという傾向があるので、大いに反省し、いろいろな問題に対して正しい世論をもてよう努力をしていかなければならない。

ルソーはイギリスの議会を評して「選挙のときだけは、選挙人は主人だが、あとは奴隷だ」と述べたが、ルソーの言葉は現代でも、にがい良薬としてかみしめ奴隷にならないように、つねに、選挙民も代表とともに研摩(深く研究)していかなければならないと思う。

先般、国会で鋭い対立が生じ、結局、お流れになった選挙区制の問題について公明選挙連盟出版「選挙の話」から参考までに大選挙区制と小選挙区制の比較を試みた。

選挙の雑感

選挙友の会会長

日 景 留 治

大・小選挙区制の比較

大選挙区制は、一選挙区から選ばれる人数が多いために、一選挙区の有権者数が小選挙区より多くなることから、小選挙区制にくらべ、広い区域を単位としているので、選挙のポスターなどを貼るにしても費用がかさみ、有権者のよく知らない候補者がでるという短所もあるが、大人物や新人がでやすいということが指摘される。

また、一般に小党が分立する傾向が生じるため、民意の反映という点ではプラスであるが、政局の安定についてはマイナスになると考えられている。

小選挙区制は、これとは逆に、選挙費用が少なく済み、選挙区の名じみのある候補者がでるといったことが指摘され、その地方の世話役が当選しやすく、全国的な有名人や新人がでにくいといった問題もある。

また、一般に、大政党が成立する傾向がみられ、このため政局の安定というプラス面をもつが、死票、すなわち議席につながらない票が多くなるというマイナス面もあると考えられている。

市史編さんだより

市史編さん機関紙「火内」

大館市史編さん機関紙「火内」の4号ができました。市内の又久、石川、東、重孝堂の各書店で頒布しております(1部150円)大館市を知る唯一の雑誌「火内」のご愛読をおすすめします。

古い写真をお持ちの方へ

明治、大正、昭和(戦前)の大館市街および周辺町村の風景写真をお持ちの方は、事務局(市史編さん係3—0706)へ一報ください。

この写真は、市史編さんの参考資料として拝見させていただくもので、ご一報があり次第、係員がお宅にお伺いすることになっています。

矢立虎寺跡の発掘調査

7月30日から、21日間をわたって松原の矢立虎寺跡の発掘調査を実施します。この虎寺は、約660年前、後醍醐天皇の重臣、藤原藤房が世をのがれて仮住したところと伝えられ、かなり古い時代のものと考えられる伽藍礎石があるということが、いままでの調査でわかってきているものの、その規模や創建年代は明確になっていないため、今度の調査ではどんな結果がでるか、注目されているところです。

〈勤労青少年たちと市長〉

～なごやかに話し合う～

勤労青少年の日を中心に、大館市でも勤労青少年たちのサークル交流会などが活発に行なわれました。

この行事の一つとして、さる7月14日、BBSやボランティア、青少年ホームの各サークルの主催による「市長を囲む座談会」が開かれました。

座談会には45人の青年たちが出席、

まず石川市長から市政の現況について話しがあったあと、夕食を共にしながら座談に移り、青年たちから「現代の青少年のあり方」や青少年に対する体育施設の整備などについて活発な話し合いが行なわれました。

石川市長とこの青年たちの対話は、はじめの試みでしたが、今後の座談会は和気あいあいのうちに終始し、大変意義のある座談会でした。

石川市長も、この青年たちの熱意に、らい年も出席して、青年たちとの対話を深めたい、といっています。



(写真)
青少年ホームで開かれた「市長を囲む座談会」の
もよう

秋田県青年海外研修

大館から6人派遣

今年の「秋田県青年海外研修」に大館市から6人の青年を派遣することにしました。

秋田県が立県100年を記念して昨年から始めたこの海外研修は、県内の青年たちに国際的視野を広めさせ、郷土秋田の建設に意欲をもつ中堅青年を育成するために行なわれるもので、昨年は大館市から5人の青年を派遣しています。

今年は、この海外研修の人数が上昇、大館市の場合、定員6人に対し、19人の青年が応募、結局県の選考で6人の青年が決ったわけですが、青年たちは、8月12日秋田港を出港し、8月24日、12日間の親善の旅を終え、秋田港に帰ってくる予定です。

＜モスクワ・コース＞

小林 忠君(23才、農業 川口)
村尾 健君(28才、高校教師 豊町)
石田 寛君(26才、会社員 下代野)
佐藤京子さん(21才、看護婦中神明町)
大森桂子さん(21才、店員 花岡町)

＜シベリア・コース＞

武田一俊君(27才、農協職員 横崎)



(石田 寛)



(佐藤京子)



(大森桂子)



(成田一俊)



(小林 忠)



(村尾 健)

保健婦の窓

—健康相談を再開—

しばらく休んでおりました各地区毎の健康相談を毎月、つぎの日程で行ないますのでお気軽にご利用ください。

＜日程＞	＜場所＞
5日	真中公民館
6日	花矢公民館
8日	釈迦内公民館
10日	市役所保健婦室
15日	矢立診療所
16日	十二所公民館
20日	下川沿公民館
22日	二井田公民館
25日	上川沿公民館
26日	長木公民館

＜時間＞

※午前10時～11時30分
(通知した乳児のみを対象)

※午後1時30分～3時
(乳児以外の一般を対象)

※対談日が日曜日、祝祭日等の休日にあたるときは、その前日に繰り上げ、土曜日は平常通りおこないます。

※十二所地区については、公民館が完成するまで各町内毎におこないます。

今月の健康相談日

(日程)	(場所)
8月 4日	真中公民館
6日	花矢公民館
8日	釈迦内公民館
10日	市役所保健婦室
15日	矢立診療所
20日	下川沿公民館
22日	二井田公民館
25日	上川沿、長木公民館

(時間)

午前10時～11時30分
(通知した乳児のみ対象)

午後1時30分～3時
(乳児以外の一般を対象)